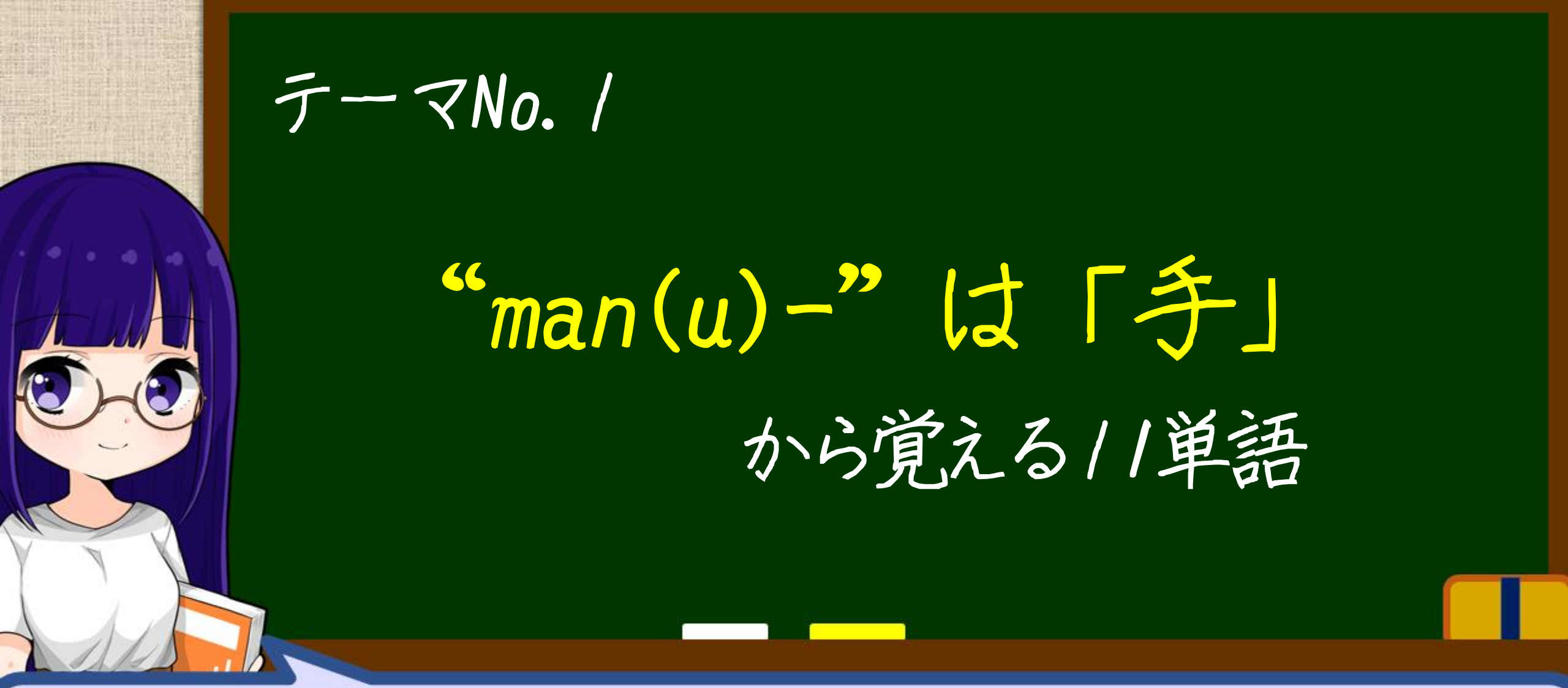
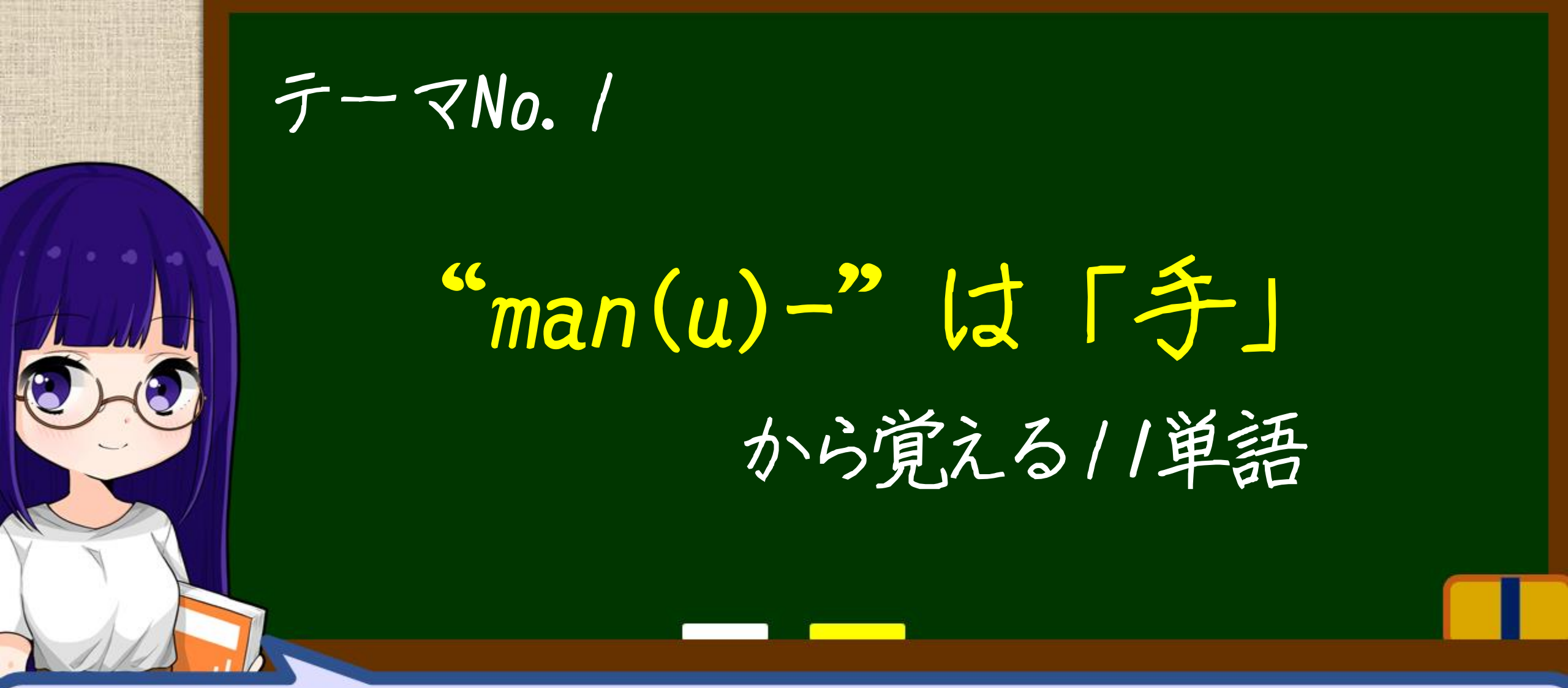


皆さんこんにちは。
今日のテーマは『“man-”は「手」』を表すです。



「マニキュア」が手の爪に塗るもの、「マニュアル」が手引書という
カタカナ語からわかるように、“man(u)-”は「手」を表します。

テーマNo. 1

“man(u)-” は「手」

から覚える11単語

これを知れば連鎖的に多くの単語が覚えられます。
今日も「理解」で覚えていきましょう。

テーマ　“man(u)-”は「手」

manual	(形)手の、手動の (名)マニュアル・手引書

“manu-”（手）＋“al”（形容詞化の接尾後）

“manu-”を形容詞化して、“manual”。「手の」という意味です。

テーマ　“man(u)-”は「手」

manual	(形)手の、手動の (名)マニュアル・手引書

“manu-”（手）＋“al”（形容詞化の接尾後）

「手元の本」は「マニュアル」、「手動で」ギアを切り替える車は「マニュアル車」ですね。

テーマ “man(u)-” は「手」

manage	(動)～を経営する、どうにかする
manager	(名)支配人、経営者、管理者、芸能人などのマネージャー、スポーツなどの監督

“man(u)-” の動詞化
“manage” を+ er(する人)

次は“man-”の動詞化で”manage”。
「手で～を扱う」から「経営する」や「どうにかする」という意味になりました。

テーマ “man(u)-” は「手」

manage	(動)～を経営する、どうにかする
manager	(名)支配人、経営者、管理者、芸能人などのマネージャー、スポーツなどの監督

“man(u)-” の動詞化
“manage” を+ er(する人)

“manage”をする人が”manager”。いろいろな意味があるよう思うかもしれませんが、実は一つのことを表しています。

テーマ “man(u)-” は「手」

manage	(動)～を経営する、どうにかする
manager	(名)支配人、経営者、管理者、 芸能人などのマネージャー、 スポーツなどの監督

“man(u)-” の動詞化
“manage” を+ er(する人)

「マネジメントする」対象が会社なら「経営者」、
芸能人なら「マネージャー」、チームなら「監督」ですね。

テーマ “man(u)-” は「手」

manage	(動)～を経営する、どうにかする
manager	(名)支配人、経営者、管理者、芸能人などのマネージャー、スポーツなどの監督

“man(u)-” の動詞化
“manage” を+ er(する人)

ちなみに、日本語では同じ「監督」ですが、
映画などの監督は”director”です。

テーマ “man(u)-” は「手」

manufacture (動)～を製造する
(名)製造、メーカー

manu (手で) + fac(作る) + ure(こと)

作る場所である「工場」を”factory”ということからわかるように
“fac”は「作る」を表します。

テーマ “man(u)-” は「手」

manufacture (動)～を製造する
(名)製造、メーカー

manu (手で) + fac(作る) + ure(こと)

“manufacture”は「手で」「作る」「こと」だから動詞では「製造する」、名詞では「製造する人」という意味になりました。

テーマ “man(u)-” は「手」

manufacture (動)～を製造する
(名)製造、メーカー

manu (手で) + fac(作る) + ure(こと)

本来の意味から転じて、特に手で作業をしていなくとも「製造」は“manufacture”です

テーマ “man(u)-” は「手」

manner　(名)手段
manners (名)礼儀・マナー

ラテン語で「手」、「手の扱い方」から

“manner”、“manners”はもともとはラテン語の「手の動き」から変化した言葉。単数形と複数形で意味が異なることに注意です。

テーマ “man(u)-”は「手」

manner　(名)手段
manners (名)礼儀・マナー

ラテン語で「手」、「手の扱い方」から

単数形”manner”は「手段」
複数形”manners”は「礼儀、マナー」です。

テーマ “man(u)-” は「手」

manner (名)手段
manners (名)礼儀・マナー

ラテン語で「手」、「手の扱い方」から

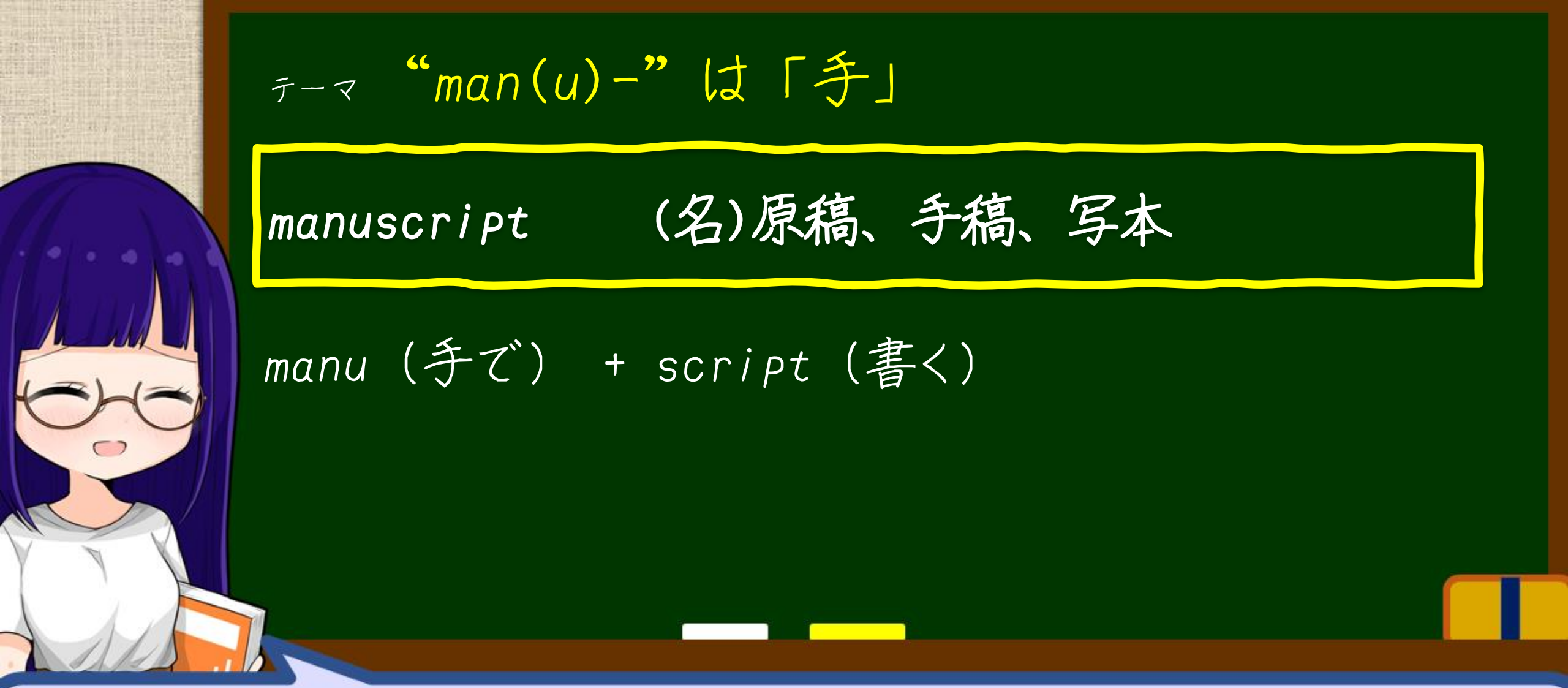
ややこしいですが、カタカナ語で「テーブルマナー」は
英語で“table manners”、複数形です。

テーマ “man(u)-” は「手」

manuscript　(名)原稿、手稿、写本

manu（手で） + script（書く）

ペンで書いたようなフォントを「スクリプト体」ということからわかるように“script” は「書く」いう意味です。



“manuscript”は「手で書く」から「原稿、手稿、写本」です。
「印刷」ではなく「手で」書くから「原稿」という意味ですね。

テーマ “man(u)-” は「手」

manuscript　(名)原稿、手稿、写本

manu（手で） + script（書く）

「写本」とは「手書き」で複製された本や文書のことですね。

テーマ “man(u)-” は「手」

manifest	(形)明らかな (動)～を明らかにする

man（手で） + fest(打つ)

“manifest”、「手で触れるようにわかる」から「明らかな」「明らかにする」という意味です。

テーマ “man(u)-” は「手」

manifest	(形)明らかな (動)～を明らかにする

man（手で） + fest(打つ)

日本語では「政権公約」という意味で使われます。
もともとは政策を「明らかにする」からきています。

テーマ “man(u)-” は「手」

maintain	(動)～を維持する、手入れする、扶養する
maintenance	(名)維持、手入れ、扶養

main(手) + tain(離さない)

“maintain”は「支える」。
対象が物なら「手入れする」、対象が人なら「扶養する」になります。

テーマ　“man(u)-” は「手」

maintain	(動)～を維持する、手入れする、扶養する
maintenance	(名)維持、手入れ、扶養

main(手) + tain(離さない)

名詞は「メンテナンス」、日本語として日常的に使われていますね。

テーマ　“man(u)-” は「手」

manipulate　(動)～を操る、～をうまく処理する

mani(手) + pul(満たす) + ate (する)

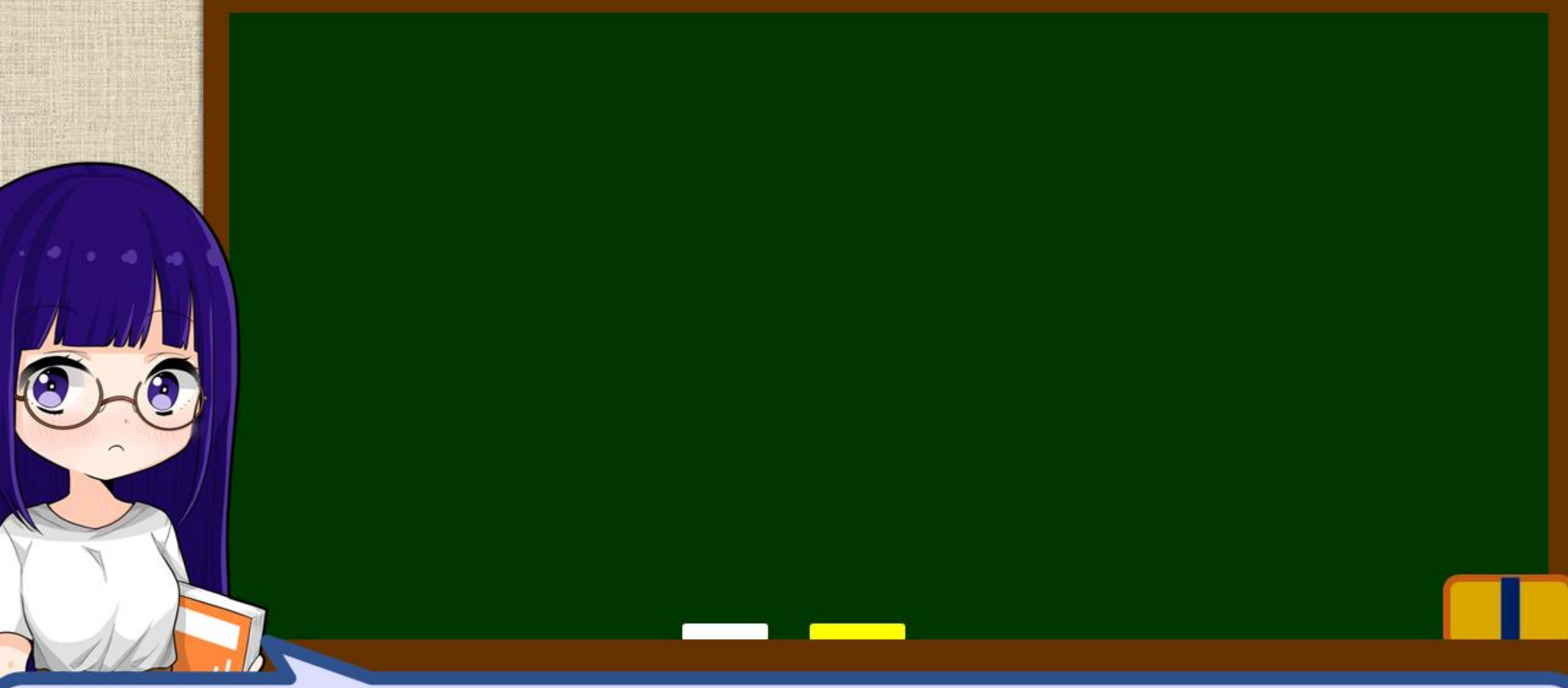
コンピューターなどを「自在に操作して」曲を作るミュージシャン、
例えば小室哲哉さんなどを「マニピュレーター」ということがあります。

テーマ　“man(u)-” は「手」

manipulate　(動)～を操る、～をうまく処理する

mani(手) + pul(満たす) + ate (する)

このことからわかるように“manipulate”は「いろいろなものを自在に操る」という意味です。



今日の授業は以上です。11個の単語を覚えられましたか？
この後はおさらいです。